

2018年度の裁判・司法研究会

2019年4月29日 作成者:巫

開催日	回	会場*	発表内容	発表者	提出物・回覧資料	議事内容・決定事項・特記事項その他
2018年4月19日	1	足立			・2017年度会計報告書	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年度会計報告 ・白子民彦氏の言いがかり訴訟について ・ホームページで公開する研究論文などの資料の検討
2018年5月17日	2	足立				<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの資料の公開の確認。 ・白子民彦氏の言いがかり訴訟について ・坂上さんの裁判の状況報告。 ・大高さんの裁判の傍聴について
2018年6月21日	3	足立				<ul style="list-style-type: none"> ・大高さんの第三回公判の傍聴について。 ・毎月の研究会の開催について ・刑事訴訟記録の保管と公開に関する疑問
2018年7月19日	4	足立			<ul style="list-style-type: none"> ・5月28日大高公判傍聴手記 ・6月27日大高公判傍聴手記 ・7月4日大高公判傍聴手記 	<ul style="list-style-type: none"> ・大高さんの第五回公判の傍聴について ・大高さんの裁判の傍聴に関連し、裁判官が傍聴人を規制する限度がどのあたりにあるのかを討議した。
2018年8月28日	5	足立			<ul style="list-style-type: none"> ①裁判官の法廷警察権と傍聴する権利について ②関東大震災中国人虐殺を考える会の資料 <ul style="list-style-type: none"> ・山河慟哭94年 ・面向歴史 ・2018年9月9日関東大震災中国人虐殺を考える集いのビラ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 裁判官が傍聴人を規制できる限界がどのあたりにあるのか。 ② 大高さんの裁判の見通し。 <ul style="list-style-type: none"> ・大高さんが出廷しないのは、警備法廷だからなのか。 ・このまま、実刑判決になるようなことが許されるのか
2018年9月20日	6	足立				<ul style="list-style-type: none"> ① 大高さんの第6回公判の傍聴について ② 裁判所でスマホのカメラ機能を使用禁止にしていることの実際的な弊害 <p>大高氏の810 転び公妨事件も今回の不退去罪事件も、裁判所職員の信頼できない証言だけを根拠にして裁判所が判決を出したが、偏った情報ソースであると言わざるを得ない。最近の交通事故におけるドライブレコーダーの映像の利用などの状況を考えれば、裁判所内でスマホ映像などが撮影されて、それを利用できるようになれば、このような問題は起こらないのではないか。裁判所が撮影を禁止しておいて、裁判所内のトラブルで職員の証言だけで判決を出すという状況は、問題である。</p>

*会場略称 森下:江東区森下文化センター
 足立:足立区生涯学習センター
 総合:江東区総合区民センター

**裁判正常化道志会:略称「道志会」

2018年度の裁判・司法研究会

2019年4月29日 作成者: 巫

開催日	回	会場*	発表内容	発表者	提出物・回覧資料	議事内容・決定事項・特記事項その他
2018年9月20日	6					③ 裁判官の裁量権について 刑事事件で裁判官が証拠採用するかしないかの裁量権があるのか。その限度はどこにあるのか。 ④ 大高氏への支援 大高氏に面会して、意向などを聞いた。
2018年10月	7					大高氏の判決公判が10月24日にあり、10月はお休み
2018年11月	8					・11月10日にAKさんの霞ヶ関セミナーが開催され、それに参加した。 ・11月27日に山村さんの裁判が横浜地裁であったので、それを傍聴した。 ・裁判司法研究会の研究会はお休み。
2018年12月24日	9	足立	東京裁判と大日本帝国の戦争犯罪について	AK	・西鋭夫の講義録の紹介ビデオ ・大高正二氏建造物不退去罪事件第一審の経過	・本年の活動の総括と来年の抱負 ・AK氏の発表と討論 ・山村さんの裁判の傍聴について ・大高氏不退去罪裁判第一審のまとめ
2019年1月14日	10	総合			・司法行政文書開示申出書 ・三鷹事件再審理由補足書(竹内景助)	・本年の活動の抱負 裁判批判を継続して行い、一般の人々にも動画制作、シンポジウムの開催あるいは出版などにより、我々の問題意識と意見を広めて行きたい。 ・山村さんの裁判について ・小林秀彦さんの事件について 書記官室での暴行事件を口実に一審有罪判決。控訴審第一回公判は1月29日2時から東京地裁720号法廷。 ・大高氏不退去罪での地裁総務課に対する司法文書開示請求 ・大高さんの裁判について 一審での大高さんの不出廷の理由、評価について、警備法廷について議論。 ・三鷹事件の研究資料の寄贈と講演依頼について

*会場略称 森下:江東区森下文化センター
足立:足立区生涯学習センター
総合:江東区総合区民センター
**裁判正常化道志会:略称「道志会」

2018年度の裁判・司法研究会

2019年4月29日 作成者: 巫

開催日	回	会場*	発表内容	発表者	提出物・回覧資料	議事内容・決定事項・特記事項その他
2019年2月19日	11	足立	三鷹事件講演	渡部富哉	<ul style="list-style-type: none"> 片島紀男作品集「戦後史の謎 検証・三鷹事件」 司法行政文書開示請求に対する裁判所の経過回答 	三鷹事件講演 <ul style="list-style-type: none"> GHQによる労働運動つぶし 下山事件、松川事件が同時期に発生 当局による証拠隠滅 マスコミによる当局側情報の宣伝 担当裁判官の訴訟指揮に対するGHQの介入（法廷秩序維持法などにつながる） 竹内景助氏が単独犯行を自白する事情 日本共産党の事件に対する姿勢と内部事情 50年問題との関連 伊藤律スパイ説との関連 再審請求の現状 質疑応答
2019年3月23日	12	足立			<ul style="list-style-type: none"> 司法行政文書開示申出書に対する回答 3月5日付けで回答書を受け取った	<ol style="list-style-type: none"> 年度末の総括 三鷹事件の評価 <ul style="list-style-type: none"> 三鷹事件がGHQ主導の捏造冤罪事件であることは疑問の余地がない 第一審の鈴木忠五裁判長の竹内景助単独犯行判決の評価は難しい 二次会を主催者が用意すべきだったという要望があった 事件の理解は消化不良なので、何回か研究会を繰り返したい 再審請求を支援する 大高氏不退去罪事件への対応 <ul style="list-style-type: none"> 5月末まで拘束されるが、出所後なんらかの励ます会を開きたい 小林秀彦さんの裁判 <ul style="list-style-type: none"> 上告する

*会場略称 森下:江東区森下文化センター
 足立:足立区生涯学習センター
 総合:江東区総合区民センター
 **裁判正常化道志会:略称「道志会」